

線量低減の国際動向

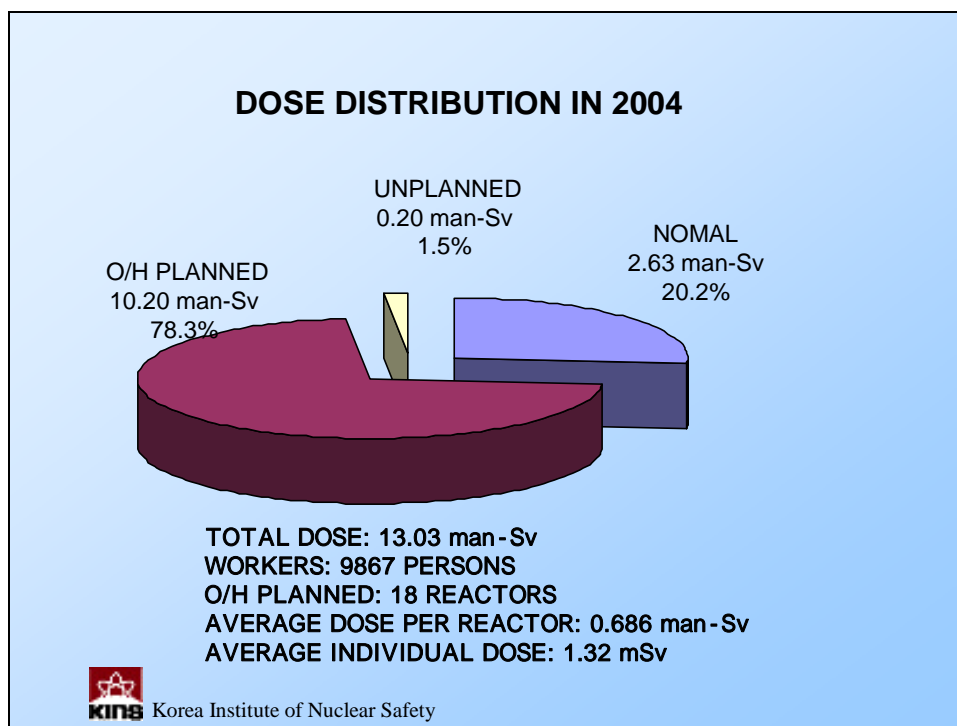
韓国の動向



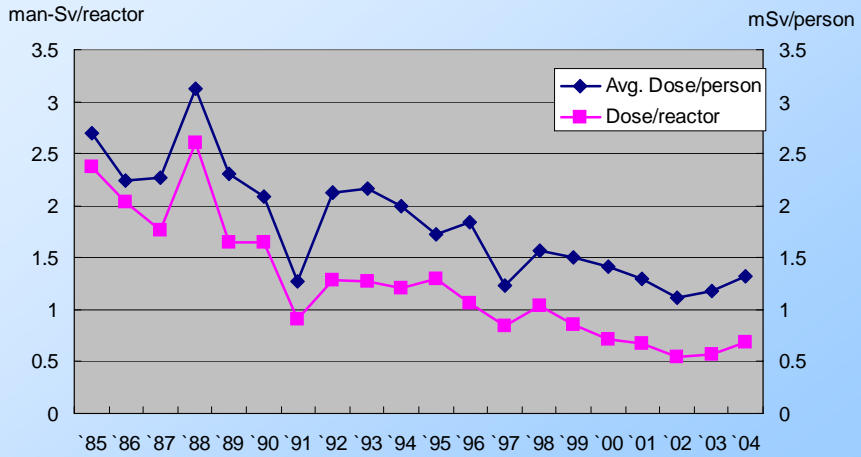
ナ博士（韓国、KINS）より、韓国の作業線量動向、作業別の線量等について概要説明（韓国の作業線量も着実に低減傾向にある）の後、CEPNの値の韓国版について紹介された。値は線量低減対策の費用対効果を\$ / 人 Sv で表す指標である。韓国の値（規制サイドの暫定値）は、

0~1mSv	: 13\$/人 mSv
1~5mSv	: 63\$/人 mSv
5~10mSv	: 221\$/人 mSv
10mSV	: 582\$/人 mSv

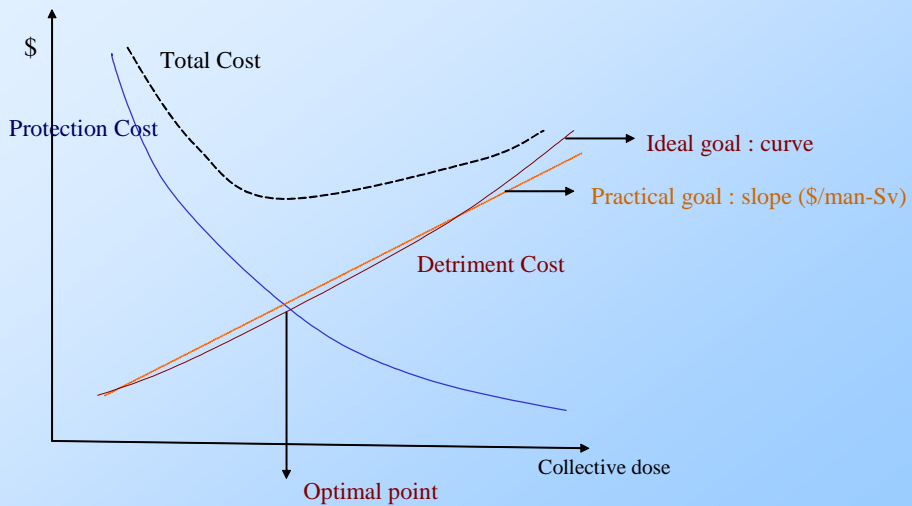
である。今後、線量低減に関する意思決定の指標として値を用いて行きたいということである。線量低減活動の例としては、廃棄物建屋のクレーンの交換が紹介された。頻繁な修理により、費用がかかり、作業線量も多かったが、輸入に頼っていた部品を国内調達に変更した結果、大幅なコスト低減、作業線量低減効果が得られたとのことである。また、先週、LLW サイト候補地が決定したことも報告した。



EVOLUTION OF DOSE TREND



Korea Institute of Nuclear Safety



Korea Institute of Nuclear Safety